※令和４年度以降入学生用

学校番号	T3005

令和８年度　公民科

教科	公民	科目	公共	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	公共　新訂版　共につくる未来　（実教出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

公共では社会の仕組みと課題について学びます。基本的な知識を学ぶのはもちろんですが、日々のニュースを取り入れながら学んでいる内容と関連性を持たせながら授業を展開します。社会の仕組みや、抱えている課題を多面的、多角的、批判的にとらえ、考察する力を身につけます。
評価は、学習状況の観察、授業プリント・ノート、課題、定期考査、振り返りシートで行います。

2　学習の到達目標

１．考察・選択・判断のための手掛かりとなる概念・理論を理解し、諸資料から必要な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。
２．現実社会の諸課題の解決に向けて，事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。
３．よりよい社会の実現を視野に，現代社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・人間は，個人として相互に尊重されるべき存在であるとともに，対話を通して互いの様々な立場を理解し高め合うことのできる社会的な存在であること，伝統や文化，先人の取組や知恵に触れたりすることなどを通して，自らの価値観を形成するとともに他者の価値観を尊重することができるようになる存在であることについて理解している。 ・雇用と労働問題，財政及び租税の役割，少子高齢社会における社会保障の充実・安定化，市場経済の機能と限界，金融の働きなどに関わる現実社会の事柄や課題を基に，公正かつ自由な経済活動を	・社会に参画する自立した主体とは，孤立して生きるのではなく，地域社会などの様々な集団の一員として生き，他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることについて多面的・多角的に考察し，表現している。 ・自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し，合意形成や社会参画を視野に入れながら，その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを，論拠をもって表現している。	・よりよい社会の実現を視野に，多面的・多角的な考察や深い理解を通して，社会に参画する自立した主体についての自覚を深めようとしているとともに、雇用と労働問題，財政及び租税の役割，少子高齢社会における社会保障の充実・安定化，市場経済の機能と限界，金融の働きなどに関わる現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。

※令和４年度以降入学生用

	行うことを通して資源の効率的な配分が図られることが必要であることについて理解している。		
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
後期	社会を作る私たち	・青年期と自己形成 ・自己形成の課題 ・キャリアと社会参加 ・伝統・文化と私たち	a:青年期の意義と特徴について、近代以降の思想家が、人間の生き方やあり方をどのように説いているのかを理解している。 b:望ましい自己のあり方と自己形成について、国際社会に生きるために日本人が身に付けるべき態度について、多面的に考察し，適切に表現している。 c:よりよい社会の実現を視野に，青年期の意義や特徴への深い理解を通して，社会に参画する自立した主体についての自覚を深めようとしている。	・授業プリント(ノート) ・課題 ・定期考査	・授業プリント(ノート) ・課題 ・定期考査	・授業プリント(ノート) ・課題 ・振り返りシート ・学習状況の観察
	人間としてよく生きる	・古代ギリシアの人間観 ・宗教と人間 ・科学と人間 ・自由の実現 ・社会を作る人間	a:選択・判断の手掛かりとして，行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方や，行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などについて理解している。 b:地域社会などの様々な集団の一員として生き、他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることについて多面的・多角的に考察し、表現させる。 c:よりよい社会の実現を視野に，理想的な人間の生き方についての先哲の考え方への深い理解を通して，公共的な空間における人間としてのあり方生き方についての自覚を深めようとしている。	・授業プリント(ノート) ・課題 ・定期考査	・授業プリント(ノート) ・課題 ・定期考査	・授業プリント(ノート) ・課題 ・振り返りシート ・学習状況の観察

※令和４年度以降入学生用

	他者とともに生きる	・人間と幸福 ・公正な社会をめざして	a：行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方を活用することを通して，行為者自身の人間としての在り方生き方について探求することが，よりよく生きていく上で重要であることについて理解している。 b：行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方と、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などを活用し、自らも他者も共に納得できる解決方法を見いだすことに向け，思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、人間としての在り方生き方を多面的・多角的に考察し、表現している。 c：よりよい社会の実現を視野に、個人の幸福と社会の幸福についての先哲の考え方への深い理解を通して、公共的な空間における人間としてのあり方生き方についての自覚を深めようとしている。	・授業プリント(ノート) ・課題 ・定期考査	・授業プリント(ノート) ・課題 ・定期考査	・授業プリント(ノート) ・課題 ・振り返りシート ・学習状況の観察
	民主社会の倫理	・人間の尊厳と平等 ・自由・権利と責任・義務	a：人間の尊厳と平等，個人の尊重，自由・権利と責任・義務など，公共的な空間における基本的原理について理解している。 b：公共的な空間における基本的原理について，思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して，個人と社会との関わりにおいて多面的・多角的に考察し，表現している。 c：よりよい社会の実現を視野に，多面的・多角的な考察や深い理解を通して，人間の尊厳と平等，個人の尊重といった公共的な空間における基本的な原理について理解しようとしている。	・授業プリント(ノート) ・課題 ・定期考査	・授業プリント(ノート) ・課題 ・定期考査	・授業プリント(ノート) ・課題 ・振り返りシート ・学習状況の観察

※令和４年度以降入学生用

	民主国家における基本原理	・民主政治の成立 ・民主政治の基本原理 ・民主政治のしくみと課題 ・世界の主な政治制度	a：個人の尊重，民主主義，法の支配など，公共的な空間における基本的原理について理解している。 b：社会契約説の形成や，自由権の保障から社会権の保障へと向かっていった歴史的背景について協働的に考察し，それらを適切に表現している。 c：よりよい社会の実現を視野に，多面的・多角的な考察や深い理解を通して，民主主義，法の支配といった公共的な空間における基本的な原理について理解しようとしている。	・授業プリント(ノート) ・課題 ・定期考査	・授業プリント(ノート) ・課題 ・定期考査	・授業プリント(ノート) ・課題 ・振り返りシート ・学習状況の観察
	日本国憲法の基本的性格	・日本国憲法の成立 ・日本国憲法の基本的性格 ・自由に生きる権利 ・平等に生きる権利 ・社会権と参政権請求権 ・新しい人権 ・人権の広がりと公共の福祉 ・平和主義とわが国の安全 ・こんにちの防衛問題	a：法や規範の意義及び役割などに関わる現実社会の事柄や課題を基に，憲法の下，適正な手続きに則り，法や規範に基づいて各人の意見や利害を公平・公正に調整し，個人や社会の紛争を調停，解決することなどを通して，権利や自由が保障，実現され，社会の秩序が形成，維持されていくことについて理解している。 b：自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し，合意形成や社会参画を視野に入れながら，その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを，論拠をもって表現している。 c：よりよい社会の実現を視野に，多面的・多角的な考察や深い理解を通して，法や規範の意義及び役割，我が国の安全保障と防衛などに関わる現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	・授業プリント(ノート) ・課題 ・定期考査	・授業プリント(ノート) ・課題 ・定期考査	・授業プリント(ノート) ・課題 ・振り返りシート ・学習状況の観察

※令和４年度以降入学生用

	日本の政治機構と政治参加	・政治機構と国会 ・行政権と行政機能の拡大 ・公正な裁判の保障 ・地方自治と住民福祉 ・政党政治 ・選挙制度 ・世論と政治参加	a:司法参加の意義などに関わる現実社会の事柄や課題を基に，憲法の下，適正な手続きに則り，法や規範に基づいて各人の意見や利害を公平・公正に調整し，個人や社会の紛争を調停，解決することなどを通して，権利や自由が保障，実現され，社会の秩序が形成，維持されていくことについて理解している。 b:自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し，合意形成や社会参画を視野に入れながら，その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを，論拠をもって表現している。 c:よりよい社会の実現を視野に，多面的・多角的な考察や深い理解を通して，司法参加の意義，政治参加と公正な世論の形成，地方自治などに関わる現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	・授業プリント(ノート) ・課題 ・定期考査	・授業プリント(ノート) ・課題 ・定期考査	・授業プリント(ノート) ・課題 ・振り返りシート ・学習状況の観察
	現代の経済社会	・経済主体と経済活動の意義 ・経済社会の変容 ・市場のしくみ ・市場の失敗 ・現代の企業 ・国民所得 ・経済成長と国民の福祉 ・金融の役割 ・日本銀行の役割 ・財政の役割と租税 ・日本の財政の課題	a:雇用と労働問題，財政及び租税の役割，少子高齢社会における社会保障の充実・安定化，市場経済の機能と限界，金融の働きなどに関わる現実社会の事柄や課題を基に，公正かつ自由な経済活動を行うことを通して資源の効率的な配分が図られること，市場経済システムを機能させたり国民福祉の向上に寄与したりする役割を政府などが担っていること及びより活発な経済活動と個人の尊重を共に成り立たせることが必要であることについて理解している。 b:自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し，合意形成や社会参画を視野に入れながら，その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを，論拠をもって表現している。 c:よりよい社会の実現を視野	・授業プリント(ノート) ・課題 ・定期考査	・授業プリント(ノート) ・課題 ・定期考査	・授業プリント(ノート) ・課題 ・振り返りシート ・学習状況の観察

※令和４年度以降入学生用

			に，多面的・多角的な考察や深い理解を通して，雇用と労働問題，財政及び租税の役割，少子高齢社会における社会保障の充実・安定化，市場経済の機能と限界，金融の働きなどに関わる現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。			
	日本経済の特質と国民生活	・戦後日本経済の成長と課題 ・転機に立つ日本経済 ・経済社会の変化と中小企業 ・農業と食料問題 ・消費者問題 ・公害の防止と環境保全 ・労働問題と労働者の権利 ・こんにちの労働問題 ・社会保障の役割 ・社会保障制度の課題	a：多様な契約及び消費者の権利と責任，職業選択，雇用と労働問題，少子高齢社会における社会保障の充実・安定化などに関わる現実社会の事柄や課題を基に，公正かつ自由な経済活動を行うことを通して資源の効率的な配分が図られること，市場経済システムを機能させたり国民福祉の向上に寄与したりする役割を政府などが担っていること及びより活発な経済活動と個人の尊重を共に成り立たせることが必要であることについて理解している。 b：自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し，合意形成や社会参画を視野に入れながら，その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを，論拠をもって表現している。 c：よりよい社会の実現を視野に，多面的・多角的な考察や深い理解を通して，多様な契約及び消費者の権利と責任，職業選択，雇用と労働問題，少子高齢社会における社会保障の充実・安定化などに関わる現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	・授業プリント(ノート) ・課題 ・定期考査	・授業プリント(ノート) ・課題 ・定期考査	・授業プリント(ノート) ・課題 ・振り返りシート ・学習状況の観察
	国際政治の動向と	・国際社会と国際法 ・国際連合と国際協力 ・こんにちの国際政治 ・人種・民族問題 ・軍拡競争から軍縮へ ・国際平和と日本の役割	a：国家主権，領土（領海，領空を含む。），我が国の安全保障と防衛，国際貢献を含む国際社会における我が国の役割などに関わる現実社会の事柄や課題を基に，相互に対等なものとして尊重される主権国家の行動を規律し国	・授業プリント(ノート) ・課題 ・定期考査	・授業プリント(ノート) ・課題 ・定期考査	・授業プリント(ノート) ・課題 ・振り返りシート ・学習状況の観察

※令和４年度以降入学生用

	課題		際間の秩序をつくり出す国際法の意義と役割や領土が領空や領海を含むものであり，国民の基本的な生活を保障し資源を確保する領域であること，国際貢献を含む国際社会における我が国の役割について理解している。 b:自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し，合意形成や社会参画を視野に入れながら，その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを，論拠をもって表現している。 c:よりよい社会の実現を視野に，多面的・多角的な考察や深い理解を通して，国家主権，領土（領海，領空を含む。），我が国の安全保障と防衛，国際貢献を含む国際社会における我が国の役割などに関わる現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。			
	国際経済の動向と課題	・貿易と国際収支 ・外国為替市場のしくみ ・第二次世界大戦後の国際経済 ・地域的経済統合の進展 ・国際経済のつながりと課題 ・発展途上国の諸課題と日本の役割	a:経済のグローバル化と相互依存関係の深まり（国際社会における貧困や格差の問題を含む。）などに関わる現実社会の事柄や課題を基に，世界経済がより緊密に結び付き，経済活動が世界的な規模で自由に行われていること，一国の経済政策や経済活動が他国にも影響を与えるなど，国際社会において相互依存関係が一層深まっていること，国際社会における貧困や格差が解消されていない状況やこれらの解決が地球的な課題であることについて理解している。 b:自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し，合意形成や社会参画を視野に入れながら，その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを，論拠をもって表現している。 c:よりよい社会の実現を視野に，多面的・多角的な考察や	・授業プリント(ノート) ・課題 ・定期考査	・授業プリント(ノート) ・課題 ・定期考査	・授業プリント(ノート) ・課題 ・振り返りシート ・学習状況の観察

※令和４年度以降入学生用

			深い理解を通して，経済のグローバル化と相互依存関係の深まり（国際社会における貧困や格差の問題を含む。）などに関わる現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度